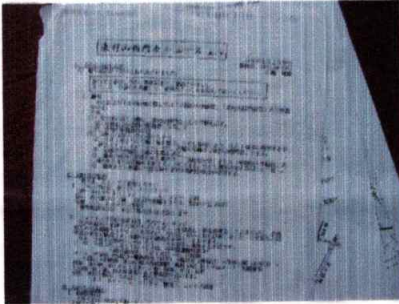


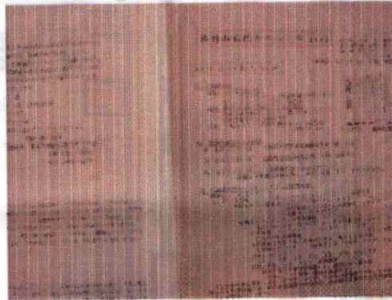


稲門会ニュース 100号

みんなで育てた8年4ヶ月 継続こそ力です



創刊号（平成9年4月）



第22号（平成11年1月）



第46号（平成13年1月）

A4判コピーホチキス止め

→→

A3判二つ折りに拡張

→→

IT編集・カラー印刷化

→→

「稲門会ニュース」100号を祝う

会長 山下 邦康

「稲門会ニュース」の発行がついに100号を迎えました。ご同慶のいたりです。ここまで懸命に育てて頂きました関係者に感謝いたします。思えば発足当時、会の啓蒙と活発な活動を期待して、何かオリジナルなコミュニケーションの手段をと生まれたのがこの「ニュース」です。どこの稲門会にも念一回発行の「会報」はありますが、毎月、会の活動の様子をお知らせする「ニュース」となると大変です。

僅か3500円の年会費で可能なのか、編集はどうする、郵送料はどう賄うかなど問題山積でした。そこはさすが稲門会です、多士済々の世話人・幹事に恵まれ、ほとんど手弁当でのスタートでした。

郵送をやめてポストマン制度を導入したのも元々は「金欠稲門会」ゆえの知恵でした。今では周辺稲門会でもポストマン制度や、毎月発行の活動誌も珍しくなくなりました。あれもこれも、私たち東村山稲門会の自慢のひとつです。

今後とも、発足当時の世話人・幹事の人々の知恵と労力の灯火を消すことなく、さらに大きく活動に前進して行きたいものです。

「稲門会ニュース」100号おめでとう

副会長 三宅 良太

東村山稲門会が平成8年11月に設立され、翌9年4月に創刊の稲門会ニュースもこの17年7月えで第100号を迎えることになり感慨無量です。創刊から3年間余り、主に塩見之一氏（S25工専）が、そして12年9月から井垣和太氏（S37商）、伊藤友己氏（S51政経）がご担当頂き、紙面もカラーのカットや記念写真入りのにぎやかなニュースとなりお陰様今日まで続いております。この間ご担当頂きました方々のご苦勞に心から感謝と御礼を申し上げます。

先日5月26日に母校の大隈講堂での口座「早稲田を知る一早稲田大学校歌の由来」の講師（校友、応援部稲門会、鎌倉在住）の方にご挨拶致しました折、「東村山は大変活発に活動されているそうですね。」と感心しておられました。今後永く継続出来るよう切に念じております。

会からのお知らせ

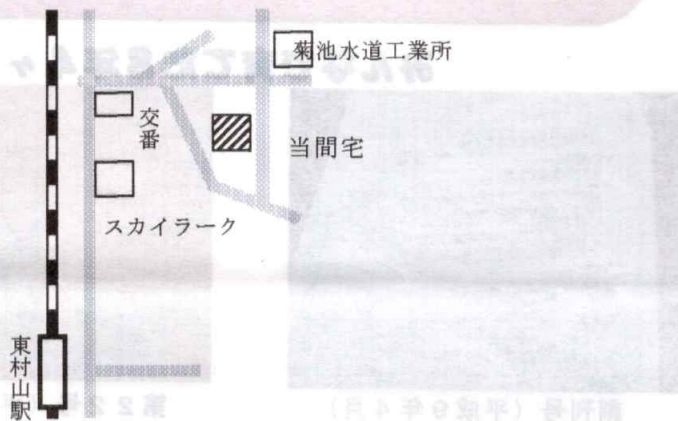
納涼大会

7/23 (土) 16:00~19:00

(雨天決行)

会場：當間昭治邸庭園
(久米川町3-14-4)

会費：会員 2,000 円
ゲスト 1,000 円



府中街道久米川辻を南へ200メートル行き
豊島酒造先の信号を右折して20メートル

○8月度役員会

日時 8月6日 (土) 13:30~16:00
場所 市民センター別館 第6会議室

※13:30から30分間は「稲門会ニュース」発送作業をおこないます。
一般会員の方で都合のつく方はご自由に役員会へご出席ください。

○会員消息

・電話番号の訂正 (先月ニュース第99号掲載記事の訂正です。お詫びいたします。)

上 素子さん・上 幸雄さん (小平市) 042-409-7779
下村 敏行さん (青葉町) 042-409-1648

・住所変更 (名簿を訂正してください。)

重久 和彦 (H2政経) さん 今後も当会の会員として活躍いただけます。

〒207-0022 東大和市桜が丘4-34-9

TEL 042-590-2208

・岡原 裕泰 (S39文) さんからの便り

二度目の手術で完全に声を失い、神明奉仕も御殿、境内の清掃、内陣雑務に限られてい
ます。当初から久米川町1・2丁目のポストマン、入院中妻のの助けを借りましたが完遂。
これからも微力ながら協力したいと思います。(2005.6.25)

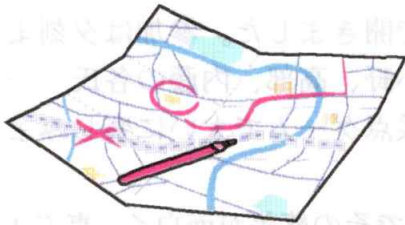
第40回 東村山雑学講座 7/9 (土) 15:00~16:30

講演 「危機管理・危機予想・危機意識」 竹田 美文 氏

場所 ふるさと歴史館研修室 (諏訪町1丁目)

旅行同好会

世話人 風間 和夫 TEL 394-5279
小 亀 輝雄 TEL 394-6951



第2回旅行同好会を5月19日～20日新緑の「別所温泉」で行いました。途中立ち寄った小諸でのそば切り400年という店での信州信濃そばの昼食。また2日間に亘っての国宝2ヶ所を含む重要文化財等歴史有る町「信州の鎌倉」を巡る旅でした。

お陰様で両日とも快晴に恵まれ何事もなく無事終了する事が出来、小亀世話人共々「ホット」一安心致しました。又来年も5月頃行いたいと思っております。最後に色々ご助言・ご協力をいただき心より感謝申し上げます。有り難うございました。

(風間記)

郷土史の会

世話人 三宅良太 TEL 394-5298



今年第2回の郷土史の会が近づきました。目下愛知県(名古屋市東部丘陵)で開催中の愛・地球博でも、映画「となりのトトロ」の主人公 サツキとメイの家が人気ようですが、この度は狭山丘陵全体の自然と文化等についてお話をして頂きます。

大勢のご参加をお待ちいたします。

演 題：トトロの森をまもる

講 師：財団法人 トトロのふるさと財団

事務局 門内正広(かどうちまさひろ)氏

日 時：7月10日(日) 14:00～16:00

場 所：ふるさと歴史館視聴覚室

テニス同好会

世話人 當間昭治 TEL 391-6023



6月の例会は5日の予定でしたが、前日の雨でコートが使用できず残念ながら中止。次回以降は好天を期待したいものです。

7月と8月の予定をお知らせします。今までは土曜か日曜でしたが、8月は抽選もれとなり初めての平日の開催となります。新メンバー是非参加してください。

記

日時： 7月 3日(日) 午前9時～午前11時

8月 9日(火) 午後3時～午後5時

場所： 両日とも久米川コート NO. 3

カラオケ同好会

世話人 内藤 慎 TEL 393-5071
八木 勝利 394-5963



6月例会は、6月4日ドレミで開きました。参加は夕刻よりの豪雨もあり、芦田、井垣、小野、高部、内藤の各氏。一人4, 5曲を思い切り熱唱し、採点ゲームで大いに楽しみました。

選曲による得点に差が出るようでその落差が面白く、喜ぶ人、悲しむ人、怒る人等さまざま楽しい一夜を過ごしました。

7月の例会は、先月のニュースでご案内しましたとおり、新宿に出張カラオケ教室を開催します。

7月15日【金】 17:00~20:00

新宿歌舞伎町 芽ぐみ 03-3207-3496

会費：6,000円

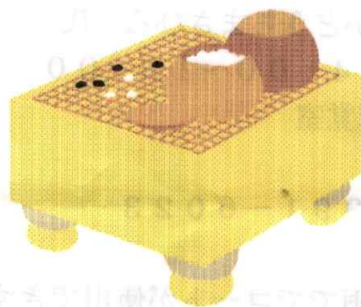
申込締切：7月9日(土) 電話でご連絡下さい。

8月は、8月3日(土) ドレミ 19:00から

(内藤記)

囲碁同好会

世話人 野村 保夫 TEL 394-0417
高 鷲 近 394-2336



●6月例会と三支部対抗戦の報告○

○例会は6月18日(土)午後1から5時まで、市民センター別館第4会議室で行われました。雨がその日は降らなかったのが幸いでした。

●今月は昨年と同じく東久留米／西東京支部との親善対抗戦も一緒に開催されました。東久留米から7名、西東京から4名が参加され、こちらは有力高段者3名が欠場ということもあり、4名で臨みましたが、最多勝利は西東京、2位が東久留米、ホスト側が

最下位という残念な結果となりました。

○夏の大会は8月27日の土曜日を予定しておりますが、未だ申し込みが出来ないので次号で確定日をお知らせ致します。一応当日は空けておいて下さるようお願いします。

麻雀同好会

世話人 小野 智 TEL 391-9523

松永 常尚 332-5621



平成17年第2回(第32回)麻雀大会は、予定通り6月12日(日)マージャンMにて開催しました。

今回は4卓(16名)の雀戦となりまして、同点の優勝とB。Bがそれぞれジャンケンにて勝負を決する事になり、優勝者、鈴木国夫氏ブービーは井手厳氏に決しました。尚準優勝の土橋氏は3回連続の準優勝故(30回、31回、32回)ジャンケンに手心を加えられたかは、本人のみぞ知る事でしょう。

次回は9月11日(日)に予定しております。

園芸の会

世話人 三宅 良太 TEL 394-5298



今年第4回園芸の会を下記の日程で催します。今回は恒例の目下各自が丹精育てているさざ草の品評会です。参加者全員の投票により上位3賞(金・銀・銅)を決定致します。大勢のご参加を、そして作品をお出しにならない方もどうぞ鑑賞にお出かけ下さい。

日時: 8月20日(土) 15時~17時

場所: 東村山市民スポーツセンタースポーツクラブ室

ヨガ同好会

世話人 大西 幸夫 TEL 395-2817

17年6月の実施状況

第54回: 6月6日(月)

参加者: 飯塚夫妻、大西、風間、額田、三宅夫妻、森川(節)、以上8名午前中から真夏を思わせる暑さの中、風間さん指導の太極拳、練功18法から始め、ヨガにはいりました。

第55回: 6月26日(日)

参加者: 飯塚夫妻、大西、小山、高橋、額田、三宅夫人、計7名、午後に俳句の会があるため、太極拳準備体操は行わずヨガのみ実施しました。

H17年7月の予定

第56回: 7月4日(月) 第57回: 7月24日(日)

H17年8月の予定

第58回: 8月1日(月) 第59回: 8月20日(土)

何れも10時00分~11時30分、東村山スポーツセンター小会議室です。

ゴルフ同好会

世話人 堀田秀夫 TEL 090-8339-7179

第18回会長杯コンペ9/25(日)のお知らせ

今年度第二回の会長杯(第18回)を9月25日(日)五日市カントリークラブで行うことになりました。皆様多数のご参加をお待ちしております。当日幹事田島・三宅ご両者のお世話で5組を予約いたしましたが、万一多数ご参加の場合は、勝手ながら先着順ということで、悪しからずご了承下さい。新参加の方、奥様のご参加大いに歓迎です。携帯090-8339-7179まで連絡して下さい。なお、詳細は8月号でお知らせします。

日 時: 9月25日(日)

コース: 五日市カントリークラブ 042-595-0111

スタート: 東コース 9時31分より5組

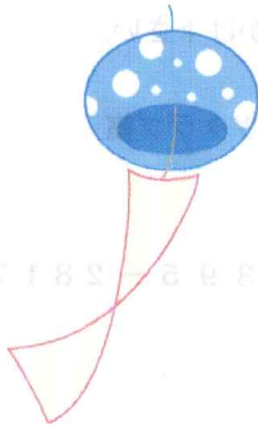
費用: 20,950円[プレー代・昼食・パーティ費含む]



俳句同好会(稲酔会)

世話人 高杉修 391-8447

井垣和太 04-2924-2934



第20回の稲酔会句会は、6月26日(日)に恩多町の恩多ふれあいセンターで開催されました。

参加者は、稲雀、稲生、回生、和夫、北窓、瑞雄の6名と投句参加の風至、一平、竜湖、恵峰、慎の5名で計55句と大盛況。兼題の「白南風(しろはえ)」(夏の季節風)を詠んだ句も17句と皆さんの旺盛な取り組み意欲が見られました。

1時間かけて、清書と選句をしたあとで、稲雀を進行役として合評に入り、推薦の弁やら「取らざるの弁」を披露。

全55句の鑑賞を終えたのが夕刻5時近くと熱心な句会となりました。

場所を「丸藤」に移しての、懇親会には、風至、一平の、真の3氏も駆けつけ、選句を追加、実質9名による互選となりました。

今回の高点句には、

白南風や大工の腰の白タオル 恵 峰

の句が入りました。

懇親会場には、稲門会の山下会長、長井副会長も加わり俳句談義に参戦。飲み且つ駄べつてのインテリジェントサークルが解散したのは大河ドラマ「義経」が始まる時刻でした。

次回は9月5日(月)～6日(火)にかけて、奥多摩での「邯鄲を聞く」吟行の予定です。

(稲雀 記)

気学々習会

世話人 藤本 継 男 TEL 391-6768

しばらく開催しておりませんでした、下記の通り学習会を行いたいと思います。

記

日時：7月7日（木）午後1時～3時

場所：恩多ふれあいセンター1F多目的室

内容：『九星の各月における吉運と凶運の出し方について』

特記：平成18年度の暦（大体8月初旬発行予定）とコンパス（東西南北）を頒布したいと思います。但しいずれも希望者に限る。計金二千円を預かります。忘れずにお願いします。

俳 壇

白南風や進水台を船すべり 高杉 風至
 山道に会いし子の手の夏わらび 菊田 一平
 枇杷の種しやぶりにて美空ひばりの忌 井垣 稲雀
 父の日の帰れば家の中真つ暗
 葛蒲田のとなりの人參畑かな 八木 竜湖
 近寄ればびたりと止みぬ初蛙
 白南風や憩ひを惜しむ大工あり 大野 恵峰
 白南風や連れ来し女の眼もブルー
 白南風や大工の腰の白タオル 小亀 稲生
 白南風の朝の食卓アイスティー
 白南風の夕波高く逗子の浜 緑陰に竿竹売りのテーブ音
 白南風や病みし身なれば鬱鬱と 大西 回生
 子等遊ぶ蒲公英の絮蹴散らせて 風間 和夫
 白南風や小波光る城の濠 丸本 北窓
 白百合の囁く如く開きをり
 紫陽花は雨ひとつぶに灯を点し 幸田 瑞雄
 詠へしシャツ輝きて半夏生
 母百寿皐月の庭に舟を漕ぐ 内藤 慎
 白南風や明日は旧友古稀の会
 一日の旅の行方はかたつむり
 子等と犬寝息ひそかに初夏の昼

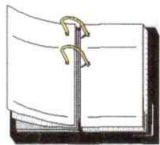
○「ふくろう通信」が本（非売品）になりました。

戸田志郎さん（S43法）は、還暦を機に、「戦後経済の構造と展開」と題した著書を製作されました。（岩波出版サービスセンター）

自分が生きてきた時代を社会経済の面からまとめ、次の世代に伝え残そうとの主旨ですが、第2部で「稲門会ニュース」に2年半にわたって寄稿された「多摩湖ふくろう通信」が掲載されています。（I）



○会費納入有り難うございました。（5月・6月受付分） 先号掲載洩れをお詫び致します。
 服部俊久、丸目干城、谷城長治、吉村正、木村草彦、中山和之、飯村和子、青柳真一、
 辰巳慎次、野村茂樹、金城寛文、飯塚輝雄、松坂伊智雄、筒井昌、坂本英夫、田辺正史、
 北野二郎、高橋鶴次郎、木原晴彦（次年度分）、森田光夫、佐藤清彦、清水聡、高澤壽佳、
 藤本継男
 あと34名の方よろしくおねがいたします。（会計）



今月の予定

- 3日(日)テニス同好会
- 4日(月)ヨガ同好会
- 7日(木)気学学習会
- 9日(土)役員会
雑学講座
- 10日(日)郷土史の会
- 15日(金)カラオケ同好会
- 23日(土)納涼大会
- 24日(日)ヨガ同好会



編集局だより

編集局：井垣、伊藤

- 100号をお届けいたします。結構重いものを感じています。主張と言うよりはお知らせが中心のニュースですが、会員の皆様の活動とその予定をお伝えすることに大きな意味を感じます。その中で少し辛みを込めた話題をお伝えできたらと思います。
- 「現実的なものは理性的なものであり、理性的なものはすなわち現実的なものである」ヘーゲルのこの言葉は、様々に意識されてきたが、政治の世界も含めて様々な世界で論理的な思考の基準となってきた。20世紀の科学的な思考がこの言葉に支えられて来たといっても過言ではない。論理的に思考していくこと、その思考の結果を明確に説明しうる事。そのことが21世紀を支えていくかと思いきや、最近は居酒屋論理が政治の言葉となってしまったようだ。私たちが、居酒屋で会社や社会や家庭の不満を漏らす言葉は、漏らすことに意味があるのであって、それは政治そのものの言葉ではないはずだ。なぜいま、政治家達は居酒屋で語る言葉を、政治の言葉として語るのか。そんな言葉で政治を語られたら、我々は居酒屋で何を愚痴ればいいのか。高い理想と学問の良心が早稲田の伝統である。もう一度、論理的な思考と説明を政治世界に求めるのは無理な話なのか？
- (伊藤)

次号の原稿締め切りは7月30日(土)とさせていただきます。8/6(土)発行予定

- 難しいことは解りませんが、さりとて「チャラーン」とバンザイをして終わる笑点のこん平のように能天気には過ごせない世の中ですね。伊藤さん！101号からあとのことはよろしくお願い致します。「ニュース」は稲門会活動の予告と報告に徹していけば月刊が維持出来ると思います。
- みなさん！これまでのご支援有り難うございました。最近は重要な事項での間違いが多く、落ち込むことが多かったので、「よれよれになりながらのゴール」といったところが実感です。
- 4年と8ヶ月にわたって、編集・印刷と封入、ポストマンへの配送をやらせて頂きましたが、配送当日(第1若しくは第2の土・日)に傘を差して配ったことが無いのが自慢です。「晴れ男」を自認する男の大きな(小さな?)勲章です。
- 今後も幹事として側面からお手伝いをするをおやくそくして……。アディオス
- (井垣)